

# ダンボールコンポスト

平成22年7月8日

伊江村

# ダンボールコンポストとは

## • ダンボールコンポストとは

– ダンボール箱を利用した生ごみ処理容器

基材

- ピートモス（有機質土壌改良剤）
- くん炭（消臭&微生物の住み家）
- 米ぬか（発酵が弱い時の活性剤）



– 基材に生ごみを入れ、微生物の力によって堆肥を作る。

# ダンボールコンポストとは

## • ダンボールコンポストのメリット

- 特別な容器や機械は必要ない!!
- 電気を使用しない!!
- 発酵剤などの薬品を使用しない!!
- 基材が安い!!
- 安全な有機肥料として使用できる!!
- ごみの減量化に効果!!



# ダンボールコンポストの作成

## • ダンボールコンポストで堆肥を作ろう!!

### ■ 堆肥づくりに必要なもの

#### ① ダンボール箱

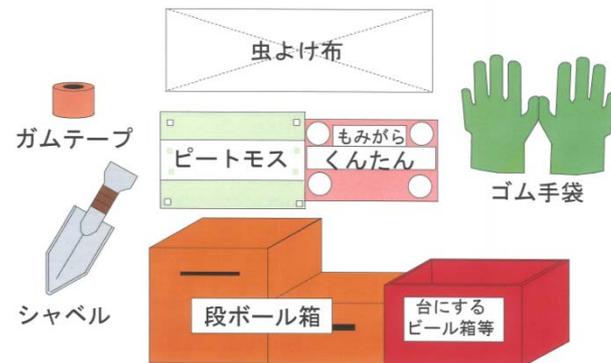
- ◆ (縦30センチ×横45センチ×深さ30センチ程度：みかん箱等)
- ◆ 底を二重にするか、箱を二重にするとよい
- ◆ 虫よけや匂いよけにフタを作ると良い

#### ② まぜるもの・・・ゴム手袋・シャベルやヘラ等

#### ③ ピートモス

#### ④ くん炭

#### ⑤ 台になる角材やビール箱等



# ダンボールコンポストの作成

## • **ダンボールコンポストで堆肥を作ろう!!**

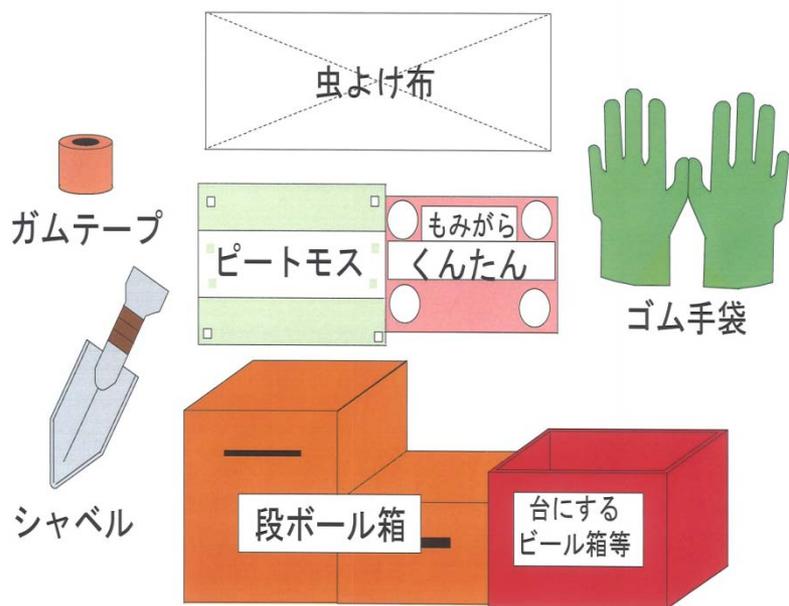
### ■ 堆肥づくりにあると便利なもの

- ① 虫よけ布・・・ダンボールの上に被せる通気性のよい布
- ② ゴムバンド・・・被せる布を留めるためのバンド
- ③ 米ぬか・・・温度が上がらないときに混ぜる
- ④ 温度計・・・管理する上で役立つ
- ⑤ ガムテープ・・・箱を固定する

# ダンボールコンポストの作成

## ・ダンボールコンポストで堆肥を作ろう!!

### 材料

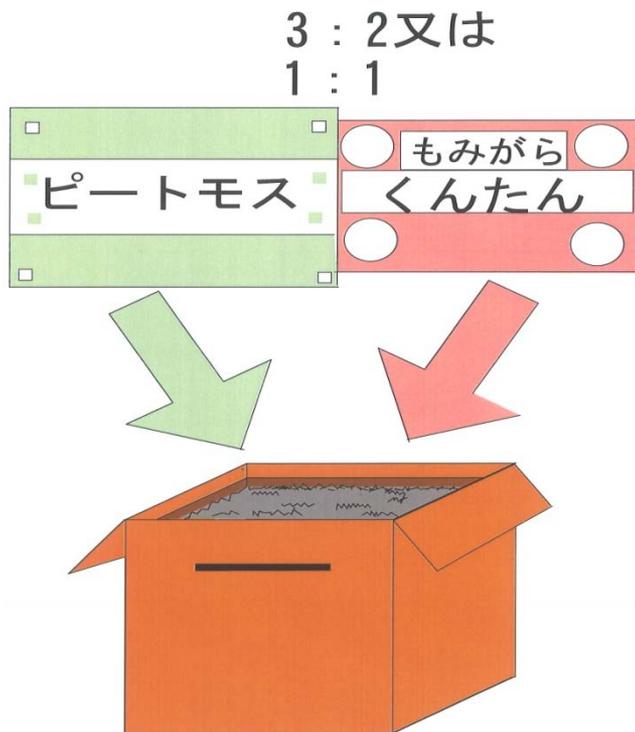


- ダンボール箱×2 (大小)
- シャベル×1
- 虫よけ布×1
- ビール箱×1 (台にする)
- ピートモス
- くん炭
- ゴム手袋
- ガムテープ

# ダンボールコンポストの作成

## ・ダンボールコンポストで堆肥を作ろう!!

### 作り方①

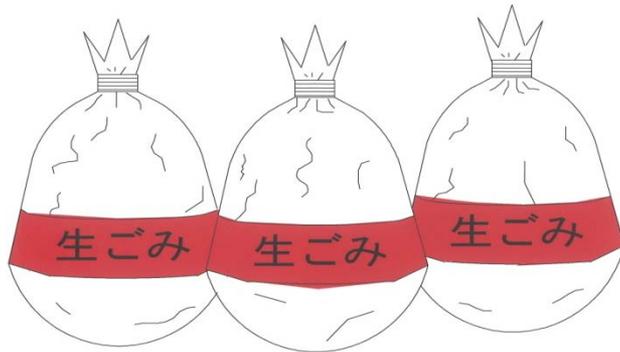


1. ダンボール箱を二重にする  
(底を二重にするのもよい)
2. 基材を入れる(3:2又は1:1)  
ピートモス15㍓  
くん炭10㍓  
又はそれぞれ10㍓
3. よく混ぜる
4. 土台を用意する(ビール箱等)
5. 通気性の良いところに設置

# ダンボールコンポストの作成

## ・ダンボールコンポストで堆肥を作ろう!!

### 作り方②



1. 生ごみを入れる  
投入する生ごみは目安として、  
500g/日
2. よく混ぜる
3. 虫よけ用の布をかぶせる
4. 上記1～3を繰り返す。

※生ごみは、できるだけ小さく切った方が分解が進む

# ダンボールコンポストの作成

## ・ダンボールコンポストで堆肥を作ろう!!

### チェック①

- ◆ 分解されない又はされ難いもの

- 魚や肉の骨
- 貝殻
- 卵の殻
- たまねぎの皮
- レモンなどの柑橘類
- 塩分の多い塩鮭や漬物など



### チェック②

- ◆ 生ごみを入れ始めてから1~2週間で温度が40度近くまで上昇する
- ◆ 水蒸気がでることもある
- ◆ ビニールなどでは覆わないこと
- ◆ 温度が低いと微生物が活動しないため、分解がすすまない
- ◆ 温度が低いと虫が発生しやすくなる

# ダンボールコンポストの作成

## ・ダンボールコンポストで堆肥を作ろう!!

### チェック③



#### ◆ 温度管理

- 野菜類が多いとあまり温度が上昇しない
- 肉・魚類を入れると温度が上昇する（高温に注意!!）
  - 熱すぎる時はよくかき混ぜる
- 使用済みの食用油（コップ1杯）や米ぬかを入れると温度が上昇する

### チェック④



#### ◆ 匂い管理

- 一度に多量の生ごみを入れると容器の温度が急上昇し、カビ臭などがでるので、1日500g程度で調整するのがよい
- 魚の内臓などは、匂いがきつくなるので、換気の良いところに移すのがお勧め

# ダンボールコンポストの作成

## ・ダンボールコンポストで堆肥を作ろう!!

### チェック⑤

#### ◆ カビや虫

- 基材の表面に白カビが生えることがあるが、好気性菌で無害である
  - そのまま続けてよい
- ダニが発生した場合
  - 終了し、最初からやり直すこと
  - 毎日混ぜること

### チェック⑥

#### ◆ 使用期間



- 3か月が目安
- できた堆肥は、1か月程度ねかせると良い
- 次回の堆肥づくりのため、ねかす前のできた堆肥を少し混ぜると、分解が早く進む
- できた堆肥は、6か月ねかすのがベストだが、1か月以上ねかしたなら問題なく使用できる

# ダンボールコンポストの作成

ご清聴ありがとうございました。

